

# jamiroquai

今どきの、クリーンで噛み付くようなサウンドは好きじゃない

「シンクロナイズ」

EPIC・レコーズ ESCA-8006



Profile:1972年、イギリスのレディングで生まれる。父親の影響でドラムに興味を持つが、本格的にはめり込んだ楽器はギターであった。17歳でベースに転向。好きなベーシストはジェームス・ジェマーソン、ジャコ・パストリアス、バーナード・エドワーズ、ダグ・ウィンビッシュ、アンソニー・ジャクソンなど。ジャミロクワイの元ベーシスト、スチュアート・センターの脱退を機にバンドに加入する。所有ベースはミュージックマン・スターリン、ZON (5弦)、フンダー・ジャズ・ベースなど。

って最適なキャビネットも変わるから、どれが一番いいかを決めるのは難しいよ。あと、これは昔とは直接関係ないけれど、僕のキャビネットはスピーカーが見えるようにグリルを取り外してあるんだ。10インチ8発入りのキャビネットなんか、8個のスピーカーが見えたとすごい迫力だよ (笑)。

**BM:** サブ・ハーモニクスはアッシュダウン・アンプのユニークな機能のひとつですが、あなたはこれを活用していますか？

**NF:** うん。オクターバーというエフェクターは、ときどきどうしてもトラッキング・ミスを起こして音がひっくり返っちゃうものだけれど、アッシュダウンのサブ・ハーモニクスは一種のデジタル・ハーモナイザーで、トラッキングの問題もないし、サウンドも気に入っているから、エフェクターとして重宝しているよ。

**BM:** ベースのサウンド作りに関して、ほかのメンバーから指示が聞いたりしますか？

**NF:** ジャミロクワイの場合、最終決定権はジェイにあって、サウンドの良し悪しを判断するのも彼なんだ。完璧主義者のジェイはサウンドに対しても妥協することはないけれど、良いベース・サウンドについての僕らの価値観はほとんど同じだから、僕が気に入ったサウンドなら、大抵はジェイもそのまま気に入ってくれるね。ただ、ステージで僕のベースの音量が大きすぎてヴォーカルの邪魔になっていたりと、ジェイはすかさず僕のアンプのところへ走って行って、自分でヴォリュームを絞ったりするよ (笑)。もちろん、その反対で、演奏が盛り上がりてくるとヴォリュームを上げたりすることもあるけれどね。

**BM:** ジャミロクワイでは、かなりたくさんのエフェクターを使っていますよね。

**NF:** うん。たとえば「ブラック・カプリコーン・デイ」のシンセ・ベースみたいなサウンドを作る時には、僕はマルチ・エフェクター1台ですませるよりも、アナログのエフェクターを4、5台ぐらい組み合わせるほうが好きなんだ。それで単体エフェクターがいっつも必要になる

わけ。基本的に、デジタルよりもアナログのサウンドが好きだし、いろんなエフェクターをつなぎ替えたり組み合わせたるのが興味みたいなところもあるしね (笑)。あと、「スーパーソニック」みたいに、レコーディングではシンセ・ベースで出していたサウンドを、ライブでは僕のベースで再現することもあるよ。

**BM:** とところで毎日の決まった練習パターンというのはありますか？

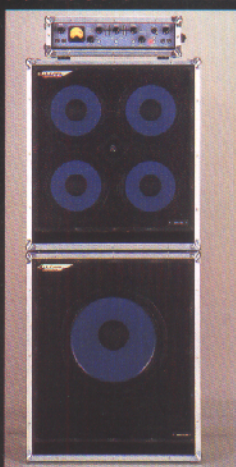
**NF:** 僕は毎日コツコツ練習するタイプじゃないんだ (笑)。僕は楽しむために音楽をやっていて、ベースを手にする時っていうのは、あくまでも音楽を演奏する時なんだ。練習じゃなくて。

**BM:** ジャミロクワイ以外にも、どんな活動をしていますか？

**NF:** 今はジャミロクワイにばかりきりだよ。バンドの活動予定がなくても、ジェイがふと何かのアイデアを思いついて電話をかけてくるかもしれないから。とはいっても、今は自宅にいろいろと機材をそろえたから、自分でも作曲やプロデュースを始めようと思っているところなんだ。



## ニック・ファイブが新たに使用している アッシュダウンのPRO MODEL



ヘッド:ABM500 PRO  
平均出力:450W RMS (4Ω)  
サイズ/重量:473(W)×143(H)×335(D)mm/14kg

キャビネット(上段):ABM410H(フルスピーカ)PRO  
入力:800W RMS (8Ω)  
スピーカ:4×10" Hi Horn  
サイズ/重量:609(W)×671(H)×420(D)mm/39kg

キャビネット(下段):ABM115-500(フルスピーカ)NF  
入力:300RMS (8Ω)  
スピーカ:1×15"  
サイズ/重量:809(W)×735(H)×420(D)mm/33kg